

春季高校野球東北大会あす開幕

頂点目指し熱戦

第64回春季東北地区高校野球大会が8日、宮城県石巻市民球場などを会場に開幕する。青森県第1代表の青森山田、同第3代表の八学光星は8日、岩手県第2代表の久慈、青森県第9代表の弘学聖愛は9日にそれぞれ初戦を迎える。各県の

東北大会出場4校の県大会の成績

試合数	打数	安打	打率	長打		得点	打点	犠打	盗塁	失策	失点		
				本	三								
青森山田	4	119	33	.277	0	4	6	21	19	10	4	3	7
弘学聖愛	4	119	40	.336	3	3	5	29	25	12	2	6	12
八学光星	4	110	39	.355	2	2	9	36	29	6	6	2	15
久慈	5	164	46	.280	0	1	9	23	21	16	3	5	21

大会を勝ち抜いた精鋭が、東北の頂点を狙って熱戦を繰り広げる。光星は、主軸投手優希、成田太一ら2年生投手の力を、強力打線が擁護して勝ち上がった。小池智也ら中軸を中心に長打力があり、県大会のチーム打率は4校で3割5分9厘とトップ。失策と守備は堅実。投手陣も安定した投球で、チームを盛り立てたい。青森山田は、左腕で制球力のある主戦寺岡輝汰や、切れ味のある左腕三上世視

瀧らタイプの異なる投手陣裏に得点し、競り勝つ地方の継投で、県内の強力打線がある。聖愛は、攻守のバランスを揃えた左腕須崎平太を中心に、継投で相手打線を封じ、久慈は、好機につなぐ野

球に徹して地道に得点を重ねる。主戦の左腕寺岡輝汰は、超の上向優司、北村知輝の者の凡打を誘う。二枚看板1、2番コンビが勝負の鍵のもう一人の高柳涼之兵に



八学光星(青森第3代表)
中軸中心に長打力

失点を抑え、接戦に持ち込みたいと志す。8日は1、2回戦計4試合を実施。光星は仙台市民球場で阪校(秋田第1)と、青森山田は石巻市民球場で東陵(宮城第9)と対戦する。(金澤千優希)